

芳川小学校で再生可能エネルギー授業！！

浜松市南区の芳川小で2日、再生可能エネルギーをテーマにした出張授業が開かれ、5年生約100人が太陽光発電の仕組みを学んだ。

講師を務めたのは、LPGガス販売「エネジン」（中区）。児童は同社の担当者から腕時計や電卓、街路灯など太陽光電池の身近な活用例や、再生可能エネルギーについて学んだ後、住宅用ソーラーパネルの組み立てに取り組んだ。

太陽光で扇風機「動いた」

芳川小児童、発電の仕組み学ぶ



太陽光発電の仕組みを学ぶ児童＝浜松市南区の芳川小

縦0・8メートル、横1・6メートルのパネルを4枚つなぎ合わせて発電し、実際に扇風機やラジカセが稼働すると、「動いた」「すごい」などと歓声が上がった。

風力や太陽光、水力などを利用してつくる再生可能エネルギーへの理解を深めてもらおうと企画した。柿沢慶実君(11)は「ソーラーパネルの発電で動く仕組みが面白かった」と感想を語った。



静岡新聞に芳川小学校で行われた再生可能エネルギー授業の様子が掲載されました！エネジンは、小学生に出前授業の一環で「太陽光授業」を実施しています。化石燃料の枯渇や、温室効果ガスの排出など環境の変化がめまぐるしい中、エネルギーも時代と共に進化しています。未来を担う小学生に環境問題に興味を持ち、自ら考えて行動してもらえたらと思います。今後も地域に住む子ども達と一緒に未来を創造していきます。

令和5年(2023年)11月3日(金) 静岡新聞

